

⑧区の現状と課題及び令和6年度の主な取組

中央区の現状と課題

- 健診受診率が市平均を下回っており、40歳代、50歳代の受診率が低い。また、全体の未受診者のうち約5割が3年連続未受診であることから、健診受診者を増やすことが必要。
- メタボ予備群者の割合が全市で1番高い。また、国保糖尿病受診率、医療費が何年増加しており、糖尿病を含む生活習慣病予防対策に取り組むことが必要。

レッツ トライ！糖尿病予防セミナー（講話編）

- 事業目的：受診率・医療費が増加している糖尿病を予防するため、リスクの高い区民を対象に糖尿病の発症予防及び重症化予防に取り組みます。
- 事業概要：糖尿病の疾患や発症予防の重要性、適切な生活習慣として食事やお口の健康管理について学ぶセミナーを開催します。
- 目標値等：セミナー参加者の疾患とHbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）について理解できた割合 90%
糖尿病予防のための食事・お口の健康管理の重要性の理解度 90%

レッツ トライ！糖尿病予防セミナー（運動編）

- 事業目的：糖尿病などの生活習慣病を予防するため、運動を始めるきっかけ作りと運動習慣の定着を図ります。
- 事業概要：糖尿病などの生活習慣病を予防するための運動について、基本的な知識と実技を学ぶセミナーを開催します。
- 目標値等：運動の必要性や実技方法についての理解度 90%

レッツ トライ！糖尿病予防の推進

- 事業目的：受診率が増加傾向にある糖尿病について、多くの区民に関心を持ってもらうために、関係団体と連携し、正しい知識や予防につながる生活習慣の改善について啓発し、罹患率の低下につなげます。また、自身の健診結果を確認してもらえよう、定期的な健診受診の勧奨を行います。
- 事業概要：乳児の保護者を対象とした調理講座の開催や、児童の保護者へ健診受診と糖尿病予防の啓発を行うなど子どもを通じた保護者への情報発信を行います。
さらに、商工会・商店街との連携、医療機関等との連携により、特に40歳代・50歳代の働く世代を新たな対象者とし、健診受診の勧奨と糖尿病予防に取り組みます。

各取組において、マンガキャラクターの中央区健康づくりサポーター「中 央子^{はが ちがし}」、中央区ヘモグロビンエーワンシー普及犬「エワン」を活用し、実施します。

- 目標値等：関連機関との啓発実施回数 50回（オリジナルキャラクター活用回数）
令和6年度健診受診率 45%

市内健康寿命延伸プロジェクト

- 事業目的：区民が自分の健康に関心をもてるように、健康づくりの情報発信を進めます。
- 事業概要：副区長をプロジェクトリーダーとして、各課で取り組んでいる事業と協働して実施するとともに、区全体で取り組めることを検討します。
- 目標値等：令和6年度健診受診率 45%
糖尿病予防月間における市内で連携した取り組み 実施する

※一部、国保データ等、掲載データ以外のデータに基づき取組を検討しているため、掲載データの傾向とは異なる場合があります。